

2026年度 柚野小学校 グランドデザイン

こども

学校

ウェルビーイング

家庭

地域



小中学校教育目標『柚野を愛し、柚野に学ぶ』
 小学校：主体的に生きる 中学校：品格を高める



【小中学校経営目標】

自己・他者・地域を愛する心と主体性・協働性を育む魅力ある学校づくり

【9年間で身に付けたい資質・能力】

主体性

協働性

対話力

情報リテラシー

郷土愛

メタ認知力

Plan

【重点目標：目指すこども像】(柚野小中連携三部会による計画立案)

●**認め合う**：思いやりの心を持ち、主体的に行動するこども (豊かな心育成部)

◆**学び合う**：主体的に学び、共に高め合うこども (確かな学力育成部)

▼**鍛え合う**：健康な身体や正しい生活習慣を主体的につくるこども (たくましい心身育成部)

Action

○課題に対する改善案について検討後改善案の実施

<改善案の検討場面>

【短期】 打合せ、職員会議、職員研修

【中期】 小中三部会、学校運営協議会、PTA理事会

【長期】 教育課程編成

Do

【豊かな心育成部】

- 誰とでも活動できる集団づくり
 - ・こどもが主体的に動く縦割り活動の充実
- 誰一人取り残さない特別支援教育、不登校児童支援
 - ・ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営
- 思いやりの心を育む人権教育
 - ・新人間関係づくりプログラムの活用
- 自己の生き方を考える道徳教育

【確かな学力育成部】

- ◆ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
 - ・情報活用能力の向上を目指した安全で効果的なICT活用 (生成AI・デジタル教科書の活用)
- ◆「学びの伴走者」としての教師の関わり
 - ・主体的、対話的で深い学びを視点にした授業改善
- ◆こどもが主体的に学ぶ「学びのサイクル」の確立
 - ・対話を通して考えを広げ深める授業の展開
- ◆探究力を育てる体験的な学び
 - ・地域との関わりを通じた体験的な学び

Check

【評価場面・方法(教職員・学校関係者)】

- ・日常的な学習評価、生活評価
- ・学校評価(年2回) ・小中三部会
- ・学校運営協議会、PTA理事会
- ・行事毎の成果と課題の分析

【評価場面・方法(こども)】

- ・授業における振り返り
- ・単元テスト、定着度調査、全国学・学調査

【学校評価重点項目】

(小・中の順) 【 】は到達目標(%)

- ◆授業が楽しい (93・93)[95]
- ◆柚香の意欲的な追究(98・84)[95]
- 学校が楽しい (94・88)[95]
- 挨拶、言葉遣い (99・96)[95]
- ▼体力づくり (96・64)[95]
- ▼早寝早起き朝ごはん (93・75)[90]

自分から進んで
取り組む力

認め合う

学び合う

話す・聞くことにより
理解し合う力

協力して
取り組む力

鍛え合う

情報を正しく読み解き、
発信できる力

ふりかえり、
再構成する力

地域を愛する心

9年間で
身に付けたい
資質・能力

- ▼主体的に取り組む体力づくり
 - ・めあてをもって取り組む教科体育の充実
 - ・運動の日常化 ・徒歩登下校 ・家庭運動の日
- ▼家庭と連携した健康教育
 - ・早寝・早起き・朝ごはんの推奨 ・よりよい生活習慣
- ▼「自分の命は自分で守る」ための安全教育
 - ・自分事として捉える防災訓練 ・集団下校

【たくましい心身育成部】

地域・家庭との連携・協働

- コミュニティ・スクール
- 地域学校協働本部
- 地域行事への参加

安全・安心な学校づくり

- 学校設備の点検・整備
- 見守りボランティアの活用
- 危機管理意識の向上

働き方改革の推進

- 教職員が働きやすい職場環境づくり
- 校務DX化への取組